



川俣小学校「学校だより」

輝くひとみ

令和3年4月16日(金) 第3号

教育目標
 ☆すすんで学ぶ子ども
 ☆思いやりのある子ども
 ☆ねばり強い子ども
 ☆たくましい子ども

発行者 校長 本名 武



思いやりの心と憧れ



清々しい青空の下、1年生と遊ぶ高学年の姿が上校庭にりました。遊具で一緒に遊んだり、楽しい遊びを教えて一緒にやろうとしたりしている姿、そのやさしい表情が1年生へのあたたかな思いやりの心を映しているようです。もしかしたら、高学年の子たちも、自分が1年生のときに一緒に遊



んでもらった心地よさを今の1年生に見ているのかも知れません。今は小さな1年生に頼られる存在。雲梯からおりに困っている1年生に気付いた6年生が一生懸命おろしてやろうとお世話している姿もありました。やさしく頼もしい上級生の姿に憧れの気持ちも生まれてくることと思います。そのあたたかな記憶や憧れは、おそらく名前も顔も忘れてしまってもずっとずっと残っていることと思います。学校は勉強にしっかり励む場であると同時に、大切な人間形成の場でもあります。よく晴れた業間休みの上校庭、思いやりの心と憧れが確かにそこに見て取れました。大事に育んでいきたい川俣小の素敵なワンシーンでした。



ふるさと学習の充実に向けて



ふるさと川俣への愛着と誇りを育み、ふれあい班（1年～6年までの縦割り班）の絆を深める校外学習「ふるさとフィールドワーク」を4月28日に予定しています。

全校児童がふれあい班ごとに川俣小から中央公園まで4つのルートから1つを選



び、道中の植物や生き物、史跡や建物、商店や町並み等々の気になる「はてな？」を見つけながら散策していきます。例えば、店の名称に着目しても、川俣町なのに他の町の名称があることに気付いたり、扱っていない商品名が店の名前になっていたり……。それらいろいろな分野の「はてな？」を掘り下げていくと川俣町の誇りある歴史や文化等にも通じることになりますが、それらの見つけた「はてな？」は、後の生活科や総合的な学習の時間のふるさと学習の伏線としての役割もねらっています。当日は、ゆっくり楽しく散策しながら、中央公園でおいしいお弁当をいただいて、ふれあい班で楽しい活動をしてきたいと思います。今週は教職員が4つのルートに分かれ、どんな「はてな？」に気付かせたいか、安全面等はどうか等の下見に行ってきました。



「あたりまえだけど、とても大切なこと」

～本の紹介～

2004年にベストセラーとなった「みんなのためのルールブック～あたりまえだけど、大切なこと」2000年に全米最優秀教師賞受賞のロン・クラーク氏の著書です。著者が当時教育困難校で教師をしていた際、祖母から教えられた当たり前の礼儀やマナーを指導した結果、生活・学業面等が激変したとのこと。本には50の短いルール等が載っています。例えばルール7「口を塞いで咳くしゃみをする」ルール24「叱られている人の方は見ない」なぜそれが大切なルールかも示しています。人を思いやる心・相手意識も育つのだと感じました。あたりまえだけど、大切なことを大事にしたいです。

※本日、交通安全鼓笛パレードと川俣町ロードレース大会の中止の電話連絡が入りました。正式な通知が届きましたら、登校日等も含めあらためて連絡いたします。